視聴覚資料組織法

——(4) 映画フィルム編*——

How to Organize Audio-Visual Materials in the Health Science Libraries

4. Motion Picture

小屋 由紀子**
日本医師会

野村 真弓
日本大学歯学部図書館

I. 範 囲

本稿では連載初回のビデオカセット編に引続き、映像資料として映画フィルムを取り上げ、その組織法について述べる。医学図書館資料として利用される映画フィルムには個人または研究室等で制作されるものもあるが、ここでは市販されている教育・学術研究用の映画フィルムを対象とする。

II. 種類と選択

1. 規格別

日本工業規格で定められている規格によるとフィルムの幅によって、70 ミリ、35 ミリ、16 ミリ、8 ミリの4種類がある。一般に教育・学術映画用には16 ミリ、8 ミリが多く使われる。(表1)当分科会が先に実施したアンケート調査においても所蔵されている映画フィルムは16 ミリ、8 ミリであった。²⁾

表 1. フィルムの種類と映写速度¹⁾

フィルムの種類		標準映写速度 コマ/秒
16 mm	光学録音	24
	磁気録音	18
	無 声	16
レギュラー 8 mm		16
スーパー (シングル) 8 mm	光学録音	24
	磁気録音 無 声	18

2. 表現別

表現による種類分けは①音の有無およびその方式、②色彩の有無、③映写画面の縦・横の比率によって区別される。

*既報の3編は以下のとおり

(1) ビデオカセット編, 医学図書館, 31(3): 259-272, 1984.

(2) 録音資料編, 医学図書館, 31(4): 371-385, 1984.

(3) 静止画像編, 医学図書館, 32(1): 64-78, 1985.

この連載は関東地区医学図書館協議会目録標準化を検討する会AV分科会の会員が、分担して執筆するものです。読者の皆さんからのご意見をお寄せください。

** Yukiko KOYA: Japan Medical Association, 5, 2-chome, Kanda Surugadai, Chiyoda-ku, Tokyo 101, Japan.

3. 内容別

- 教材, 教育映画(学校教育・社会教育・一般教養)
- P R映画(産業教育, 産業P R, 一般P R)
- 記録映画(ドキュメンタリー映画)
- 一般劇映画

III. 資料組織化の実際

1. 収集と受け入れ

映画フィルムは一卷当りの購入単価が高いので収集方針を明確にし, 以下の点に留意して慎重に選択すべきである。

- 領域
- 対象(学生向き, 臨床医家向き, 患者向き等)
- 対応する機器の形態的特性
- *最近の映像資料はビデオテープでも提供されている例が多く, 映画フィルムの選択には利用の状況等を総合的に判断すべきである。

映画フィルムが納品されたら見積り書・納品書, 請求書を照合確認したうえ, かならず再生して確認する。最低限チェックすべき項目は以下の点である。

- 画質, 音質
- 再生方式
- 再生速度, 時間
- 附属資料
- 形態(パーフォレーション)

またチェック項目をまとめたビデオカセットと同様の「確認用紙」を用意すると便利である。

2. 登録

登録方法はビデオテープに準拠する。また, 形態別配架コードには以下のようなNLMのコードを準用すると便利である。

MP 8	Motion Picture(8 mm.)
MP s 8	Motion Picture(super 8 mm.)
MP 16	Motion Picture(16 mm.)

3. 記述目録の作成

目録記述の対象をどのレベルに設定するかは前回の「静止画像編」に詳しい。映画フィルムの場合にはシリーズあるいはセットの全体を単位とするか, 資料1点を単位とする。記述目録の作成については「録音資料編」に詳しいのでここでは映像資料に関する部分のみを取り上げる。ここでは英米目録規則第二版(AACR II)と日本目録規則新版予備版追録及び修正(NCR)から該当する箇所を抜粋した。

1) 情報源

記述の情報源としてはフィルムのタイトルフレーム, 附属文字資料, 容器のラベルの順に優先される。

2) 一般資料表示

AACR II……〔motion picture〕

NCR………〔映像資料〕

3) 資料の数量

AACR II……1 film cassette (15 min.) 1 film cartridge (15 min.) 1 film loop (15 min.) 1 film reel (15 min.)

NCR………映画カセット 1 巻(20 分) 映画カートリッジ 1 巻(20 分) 映画リール 1 巻(20 分)

4) 形態細目

AACR II……録音トラックの有無を略語 sd. (sound) または si.(silent) で指示する。記述対象がカラーか白黒かを指示する(略語 col.または b & w)を用いる。映写速度にかんする情報が重要と思われる場合, 1 秒間当りのこま数(fps)で記載する。映画フィルムの標準寸法(幅)はミリメートル単位で記載する。8 ミリの場合, シングル(single), スタンダード(standard), スーパー(super)のいずれであるかを明示する。

1 film reel (12 min.): sd., b & w ; 16 mm.

1 film cassette (21 min.): sd., col. ; standard 8 mm.

Sickle cell anaemia [motion picture] / [produced by] CBC Television.—[Ottawa] : Canadian Broadcasting Corp., c1981. 1 film reel (22 min.) : sd., col. ; 16mm. Issued also as a ¾ in. videocassette.

1. Anemia, Sickle Cell - motion pictures I. CBC Television.

02NLM : WH 170 MP16 no.4 1981

Price:

Loan: Filmmakers Library, inc., 45.00

Sale: Filmmakers Library, inc., 425.00

Source:

Filmmakers Library, inc. Cit. No. 8300198A

目録の実例(NLM AV)

N C R…………画面の縦横が標準比でない映画フィルムおよび特別な映写を必要とする映画フィルムのときは、簡潔に映写特性を記載する。映画カセット、および映画カートリッジは、商標名および映写形式を記載する。映画の録音特性は①サウンドトラックのある映画フィルムは「光学録音」または「磁気録音」②同調録音の映画フィルムは「同調録音」③録音の無い映画フィルムは「無声」と記載する。資料に色彩があるときは「カラー」、ないときは「白黒」と記載する。映写速度は1秒間当りのフレーム数で記載する。大きさはその幅をミリメートルの単位で記載する。8ミリ映画フィルムのときは、シングル、スーパー、またはレギュラーのいずれであるかも表示する。

映画リール 1 巻(24 分) 光学録音 カラー 16 mm.

映画リール 1 巻(9 分) 磁気録音 カラー 8 mm. スーパー

4. 装 備

ビデオテープの装備方法と基本的には同様である。

5. 保管と保管条件

東京国立近代美術館フィルムセンター(京橋)の火災はまだ記憶に新しいところであるが、映画フィルムの保管には温度と湿度の管理が大切である。自然発火に及ばなくとも温度・湿度の変化によるフィルムの伸縮がおこるので、保管場所には高温や直射日光、湿気の多いところは避けなければならない。また保管場所と上映場所の温・湿度の格差にも注意すべきである。フィルムの材質は難燃性に変わってきているが材質により取り扱いも異なるので古いフィルムを所蔵している館はさらに注意が必要である。特に古いフィルムの取り扱いについてはメーカー等に問い合わせて確認するとよい。

また映画フィルムはリールやコアに巻き取られ堅牢な容器に収められているため1巻当りが相当の重量になる。したがってフィルム保管棚はスチール製が望ましい。棚にフィルム容器を並べる方法は垂直保管と水平保管の2つの方法がある。垂直保管はフィルムが垂れ下がり、その重みでフィルムに悪影響を与える難点もあるが取り出しやすく保管スペースも節約できる。水平保管は積み重ねた中から取り出す作業を避けるために一容器ずつ収納できる特製棚を設置しなければ円滑な運用は難しい。

以上の条件から映画フィルムは専用のガラス付きのキャビネットに別置するのが望ましい。一般の書架や棚を利用して配架する場合は温度や湿度、特に冷暖房の送風と直射日光には気を付けたい。

6. 運 用

館外へ貸し出すときは利用者にも取り扱いには注意するよう要請するとともに、貸出・返却の際にはフィルムを点検するよう習慣づけたい。

視聴覚資料の相互利用はまだ応じる館が少ない。しかし公立の図書館等のフィルムライブラリーでは資料を貸し出している。特に日本医師会と歯科医師会ではテレビ講座がフィルムとビデオテープで所蔵されてい

るので、著作権法によってテレビ番組の録画利用が規制されている図書館にとっては貴重な存在である。

日本医師会 フィルムライブラリー

IV. ま と め

現在では映像資料というとビデオカセットを指す程、その普及は著しく、また利用者の関心も高い。映画フィルムに比べてビデオカセットは取り扱いが容易

で個人の利用にもグループの利用にも向いている。図書館のサービスが主に個人を対象として運営されているとすれば、これからの映像資料の中心はビデオカセットということになろう。限られた資料購入費のなかでより多くの資料を収集するためにはやはりビデオカセットを選択することになる。同じビデオカセットの中でも $\frac{3}{4}$ in.型に比べて $\frac{1}{2}$ in.型のテープは安価であり、始めの頃よりは品質も向上しているので解像度の点ではあまり差がなくなってきた。映像資料の中心は16mm.フィルムからビデオカセットへ移り、ビデオカセットの中心は、 $\frac{3}{4}$ in.型から $\frac{1}{2}$ in.型に移りつつある。 $\frac{1}{2}$ in.型のうち VHS 方式を採用するか、 β 方式を採用するかが、今、図書館の大きな課題となっている。

引 用 文 献

- 1) 黒岩高明：視聴覚資料組織法。東京，学校図書，1979.
- 2) 関東地区医学図書館協議会目録標準化を検討する会 AV 分科会：視聴覚資料組織法を連載するに際して。医学図書館，31 (2)：178-182，1984.

ビデオ端子の形状と変換コネクタ－

ビデオ端子(映像信号の入・出力)の形状は、機種によって、さまざまである。

$\frac{3}{4}$ IN.型(U規格)のもののビデオ端子は、従来は、M接栓が多かったが、最近のものでは、BNC プラグを使用しているものが多い。オーディオ端子(音声信号の入・出力)は、ほとんどのものが、RCA ピンプラグを使用している。

これに対して、 $\frac{1}{2}$ IN.型(Beta 方式，VHS 方式)では、ビデオ端子・オーディオ端子とも、RCA ピンプラグを使用しているものが多い。

テープをコピー(変換)する場合に、Beta 方式と VHS 方式間の変換には、接続ケーブルとして、市販のピンコードを用意するだけで済むことが多い。しかし、 $\frac{3}{4}$ IN.型から $\frac{1}{2}$ IN.型への変換には、上記のような接栓の違いから専用ケーブルを自作する必要がある。

そこで、M接栓および BNC プラグ等を使用している機種については、市販の変換コネクタ－で、あらかじめ RCA ピンプラグに直しておくくと便利である。

	● 3.5φ ミニプラグ→ 2.5φ ミニジック変換用		● ビンプラグ→ BNCプラグ変換用
	● ビンプラグ→ 3.5φ ミニプラグ変換用		● M接栓→ BNCプラグ変換用
	● ビンプラグコード 2本の中継用		● BNCプラグコード 2本の中継用
	● BNCプラグ→ ビンプラグ変換用		● BNCジャック→BNC プラグ2本への変換用
	● ビンプラグ→ M接栓変換用		● 標準プラグをミニプラ グに変換するアダプター
	● BNCプラグ→ M座変換用		● ミニプラグをビンプラ グに変換するアダプター
	● F接栓コード 2本の中継用		● F接栓ワンタッチ コネクション用

(東京女子医科大学図書館 堀江 幸司)